

公益社団法人私立大学情報教育協会
2020 年度第 2 回大学職員情報化研究講習会運営委員会 議事内容

I. 日 時：令和 2 年 6 月 10 日(水) 14：00 から 16：00

II. 場 所：Microsoft Teams ネット会議室

III. 参加者：木村委員長、中本副委員長、大高委員、毛利委員、吉田委員、中原委員、西脇委員、
牛島委員、稲積委員、
事務局：井端事務局長、野本（記）

IV. 委員の紹介

運営委員の変更があり、新委員が紹介された。また、異動のあった 2 大学から委嘱予定のあることが説明された。

V. 検討事項

基礎講習コースのネット開催に向けて、開催方法などの検討を行った。

1. 開催日時について

10 月 7 日（水）8 日（木）の 2 日間とし、時間は、10 時から 17 時で開催とすることにした。

2. 情報提供について

初日の午前中に情報提供を行い、120 分の時間で 6 本程度を検討することにし、情報提供のテーマ内容について検討した。

- ・ テレワークを取り上げ、教職員で全面的に展開している事例、勤務ルールを定めている事例の 2 件で調整することにした。
- ・ オンライン授業の取組みを教員から紹介してもらうことで調整することにした。
- ・ コロナ関連の話題以外に、職員が身に付けておくべき知識として、情報セキュリティ、統計解析・可視化、定型業務のロボット化、モバイルの活用があげられ、調整することにした。
- ・ コロナ感染防止策の取組みの中で、職員のコンテンツ作成、何とか授業を行おうとした工夫、補講の計画、配信によるガイダンス・オープンキャンパスなどキーワードがあげられた。
- ・ モバイルについては、ポータルシステムの利用、大学公認・公式アプリ（大学案内、IC カード連携、ペーパーレス化など）、入学志望者向けアサーティブアプリなどの活用事例がある。

3. グループ討議について

初日の午後からグループ討議を行い、二日目の午前中に各グループの中間まとめにコメントをいれ、午後に最終提案を作成する流れが提示され、検討を進めた。

- ・ 研究講習会の形であり、まとめで終了ではなく、何らかの発表を入れ、コメントをするべきではないか。
- ・ グループの構成は、6 名とし、司会・書記・発表をメイン・サブの各 2 名で担当させれば、各自の参加意識が高まるのではないか。
- ・ 開催日数は、1 日目情報提供、2 日目グループ討議、3 日目発表の形で余裕を持たせ 3 日での構成が考えられないかとの意見があったが、今回はネットでの受講になり、研修とはいえ学内での拘束は 2 日設定までが限界ではないか。
- ・ 受講場所は、部署の自席では困難と思われ、別室での受講をイメージする。
- ・ グループ討議の進め方は、1 日目にテーマ選定し、2 日目に各グループへの意見書き込みを受けて 11 時頃までにテーマをまとめ、2 時間程度で提案をまとめ、各グループから 5～7 分で発表させてはどうか。
- ・ 時間やファシリテートの関係から、発表を分けて実施し、録画で対応してはどうか。
- ・ グループの構成人数を 1 2 名等に増やし、委員が 2 グループか 1 グループかを見る程度を検討してはどうか。ファシリテートの役割は、提案実現の方法や手段の検討を導き手助けすることが求められる。

VI. 今後のスケジュール

- ・ 今回の検討内容をタイムテーブルに整理を行い、次回は、7 月 9 日 14 時から運営委員会をネットで開催し、基礎講習コース開催要項を確定することになっている。